

Q&A 今後の市政と安心・安全なまちづくりについて



三木 浩一 議員

KOICHI MIKI



これからの教育施設について

問 これからの10年・20年先の新宮地区以外の地域の中学校はどのようなのか。統合・改築には長い年月と費用がかかる。計画的にすすめなくてはならないと思うがどうか。

答 現在、御津中学校は、改築又は改修のための耐力調査をしている。統合については、生徒数の推移を注視しながら検討していく。

問 廃校となる地域の活性化についてはどうか。

答 たつの市学校等跡地施設活用基本方針に基づき、跡地施設を有効活用するため、まず、利用状況や老朽度、土地規制などを調査し、課題を整理する。その後、①防災機能や社会体育施設といった公共施設として再活用②自治会等による地元利活用③民間需要による利活用という順に検討し、有効な案がなければ売却等も検討する。

却等も検討する。

姫新線の利便性の向上について

問 無人駅になった各駅に利便性の向上と美化対策として、民間委託を含めた人員配置を依頼検討できないか。他駅で導入事例もあるがどうか。また、乗客も300万人に回復したこともあり、昼間の増便と朝夕の車両の増結の要望を再度していただきたい。

答 人員配置については非常に困難である。本電野駅では、新幹線等の特急券や通学定期の購入や切符の区間・期日変更も可能な券売機になっている。播磨新宮駅には更に高性能な券売機の設置と画面操作の改善を、新宮駅以西の駅に於いてもイコカの導入を要望していく。増便・増結等については、「利用促進活性化同盟会」はもとより、本年5月には、JR西日本兵庫支社長に直接市長より要望した。

その他の質問事項

- 本年3月に策定した子ども若者計画について
- 児童生徒の暑さ対策について
- 家庭のエアコン設置の補助について

Q&A 新宮地域小中一貫校の建設について



楠 明廣 議員

AKIHIRO KUSUNOKI



新宮地域小中一貫校の建設

問 新宮地域小中一貫校建設工事は、4月に入札が中止、7月の再度入札では不調となっている。このため、基礎や壁を、損保川に堆積した自然石などを活用した「じゃかご」を利用することで、経費が削減され、環境に配慮した建築物となると思うが如何か。

答 議員ご提案の工法は、環境への負担が少ない有効な工法であることから、基礎工事などの掘削時に発生する石・土などを地盤改良やビオトープ周辺の外構整備に「じゃかご」を利用し、経費を削減する計画としている。

問 将来に負担をかけないよう取り組むべきと思うが如何か。

答 地下水の利用として井戸を2か所設置予定で、植栽などへの散水やビオトープへの補水、災害時等の断水時に利用する。また、太陽光の利用として、太陽光発電と蓄電池を設置するなど維持管理経費の削減に努める。

揖龍南北幹線道路の進捗状況

問 揖龍南北幹線道路の新宮地域の開通はいつになるのか。

答 兵庫県によると、大鳥踏切から宮内の鳥居までの間を、令和10年度の完成を目指して事業を進めるところである。

旧新宮高校跡地のコンパクトシティ

問 県知事は、旧新宮高校跡地についてどのような計画を考えているのか。

答 「ひょうごインフラ整備プログラム」に、県営住宅の整備事業が位置づけられているが、着手時期や整備内容は未定であるとのことであった。これまでも県に要望しているが、今後は、地域住民の意見調査や民間企業の出店意向調査の実施を要望していく。

問 県営住宅が整備されない場合、新宮地域のまちづくりをどのように進めていくのか。

答 播磨新宮駅周辺地区は、第2次たつの市総合計画において、都市交流拠点と位置づけ、持続可能なまちづくりを進めている。旧新宮高校跡地については、引き続き、県に都市交流拠点の賑わいに資する土地利用を要望していく。

その他の質問事項

- 大規模災害対策について
- 集中豪雨による内水氾濫の対策
- 期日前投票及び投票時間について
- 少子化対策について
- 県道44号相生赤栗線の進捗状況